

> ファイナンシャルハイライト (平成25事業年度)

	'13/3 (H25/3)	'14/3 (H26/3)	増減 (前年比)
(百万円)			
資産	108,181	117,203	9,022
負債	44,497	50,779	6,281
純資産	63,683	66,424	2,740
費用	37,979	38,718	739
収益	37,628	38,861	1,232
運営費交付金収益	10,685	10,721	36
授業料等収益	5,113	5,134	21
附属病院収益	16,339	17,112	773
受託・寄附金等収益	2,015	2,134	119
その他	3,474	3,757	282
当期総利益	△ 350	142	493
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,890	5,450	1,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,177	△ 3,960	△ 783
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 910	△ 881	29
資金期末残高	832	1,441	608
国立大学法人等業務実施コスト	15,061	15,285	223

注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。
詳細については、後の「ファイナンシャルレビュー」を参照ください。

財政状態については、資産が約90億2千万円、負債が約62億8千万円増加しています。施設整備費補助金により医学部総合研究棟（医学系）の改修並びに重粒子線研究装置を開発したことや、借入金により附属病院再整備事業（外来棟・中央診療施設棟の整備）を推進したことによるものです。

運営状況については、約1億4千万円の当期総利益を計上しています。収益については、附属病院収益が、診療体制の充実及び病院の経営努力による入院患者数の増加及び手術件数の増加により約7億7千万円増加しています。また、工学部の補助金獲得に伴う補助金収益も増加しています。費用に関しては、附属病院収益の増に伴う診療材料費の増加、研究推進のための備品購入の増加及び医学部総合研究棟（医学系）の改修に伴う費用の発生などにより増加しています。

今後は、更なる教育・研究に力を注ぎ、病院再整備事業を着実に進め、積極的に外部資金の獲得に努めるなど自己収入の確保に努めるとともに、大学全体の経費の抑制に向けた取り組みを進めていきます。